



HuRP 連続企画／原文にふれて学ぶ人権・平和そして人間

人権・平和のための語学教室

2010年4月12日

さまざまな言語で、人権や平和について考えてみませんか？

その国の豊かな精神文化にふれて、毎回、なにか一つ言葉を覚えて帰れば、それまでと違った視点で物事を見ることができるかもしれません。

第5回は、日本で翻訳家として活躍する傍ら、人権に関する多様なボランティア活動をされているレイナ・ルセンコさんを招いて、レイナさんが取り組む活動や活動を通して学んだことなどを、英語と日本語を交えて語っていただきました。



レイナ・ルセンコさん

始めに、レイナさんのプロフィールを英語で話してもらいました。また、「日本の好きなところ」については、アメリカ人は相手の意見も聞かずには自分の意見を主張しがちなのに対して、日本では対人関係における思いやりや配慮が重んじられている点に好印象を受けたこと、被爆体験をもつ日本が平和を訴え続ける姿勢に感銘を受けた、と

話してくれました。

そして、大学生の頃から始めた移民に関する問題についてはご自身のユダヤ系アメリカ人というルーツをはじめ、高校卒業後、イスラエルでボランティアをしたことや、また現在ホームレス支援の活動を行っていることに触れ、なぜホームレス問題にかかわるかなどを話していただきました。

その後に、全員でベーグルサンドを作り、レイナさんお手製の野菜と果物の甘煮、Tzimmesと一緒にティータイムを楽しみました。

さいごに、英語でことわざ (Variety is the spice of life. Many hands make light work. To thine own self be true) を教えてもらい、終了しました。参加者 14 人でした。



(参加者の感想)

ハープ以外の NPO・NGO 活動を続けるレイナさんのお話を伺ったことによって、より広い視野をもって今後のハープの活動に取り組めると思います。単に英語に触れる語学教室の枠を越えた有

意義な会だったと思います。

(A 奈)

大きなテーマだけで、「移民」「ホームレス」などがあり、それがまた、いくつに内容が小分けできそうなほど密度の高いお話でした。正直に言うとついて行くのがやっとでした。日米の文化の違いなどにも言及され、単なる語学教室の枠を超えていたと思います。最後のベーグルサンドでのティータイムでホット一息つけました。教えていた

だいたい諺[Variety is the spice of life]をまさに地で行くようなひと時でした。

(Y 明)

John Lennon Museum ^

<http://www.taisei.co.jp/museum/>

2010年3月28日



3月の非常に寒い日の午後、さいたま市のJ.Lennon Museum を訪れた。

展示は、彼の幼年期から The Beatles 時代、オノヨーコと出会い、活動し、子育てをし、そして命を落とすまでを、膨大なグッズとパネルで説明していく。見どころはさまざまあるが、世界的成功を収めた The Beatles 以降の“ジョンとヨーコ”の活動の面白さと、その発想にいたる軌跡が印象的だった。

彼らが問題を告発しようとするとき、そしてそれを知ってほしい、多くの人と共有したいと思うとき、彼らは仕掛けを使う。ベトナム戦争最中の69年、新婚旅行先のホテルで「世界中の暴力に抗議するために1週間をベッドで」過ごし、取材陣を招き入れて平和へのメッセージを語り続けた「Bed in」、大聖堂の庭にどんぐりを植え、世界各国の大統領や首相50人に2個のどんぐりの

実が入った箱「愛と平和の小包」を送り、平和の象徴として植えるよう働きかけた「どんぐりイベント」、外見に惑わされないよう白い布を被ってコミュニケーションを行う「バギズム」などの一連の目をひく行動がそれだ。

当時、有名人の彼らの行動がエキセントリックに映ったかもしれない。しかし、彼らの「仕掛け」のなんと柔らかく、したたかで、チャーミングなことか。

ときに、"Imagine"を書いたのはジョン・ LENNONが31才のとき(71年)。彼が使うのは、非常にわかりやすい言葉。そして本質を真っ先に突く、その力強さ。改めて圧倒された。

私たち HuRP は、問題意識を共有したいとき、そのような柔らかさと力強さをもちながら行動できているだろうか。本年9月で「終了」となるこのミュージアム。たくさんのヒントと希望があった。

* * *

そもそもオノヨーコの作品「"Imagine"シリーズ」(見る者に想像を促し作品を完成させるシリーズ)、「天井の絵」(苦労して見ることができる天井の小さな"Yes"の文字)、「ホワイトチェス」("Play it by Trust"と書かれたすべて駒が白いチェス)など、なかなか見る機会に恵まれない彼女の作品は非常に刺激的だったことを付け加えておく。

(A)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑訪問

2010年4月3日

満開の桜を見ようと多くの人が訪れる東京・千鳥ヶ淵に沿って、千鳥ヶ淵戦没者墓苑があります。この施設は、国が維持管理する「無名戦没者の墓」です。戦争によって、海外で亡くなった名前のわからない軍人・一般邦人の骨が納められています。その数およそ35万人。地下に主な戦域別（本土周辺、満州、中国、フィリピン、東南アジア、太平洋・ソ連）に分けて安置されています。



慰霊行事は一年を通じて行われますが、施設は特定宗派の宗教性を帯びないため、仏教・神道・キリスト教等の各種団体が行事を行っているそうです。

花見をする人で大混雑の千鳥ヶ淵の通りとはがらりと変わって、訪れる人はそれほど多くありませんでした。

軍人だけではなく、一般の人の遺骨も納められています。戦争で命を失った人のお墓として、あるべき姿なのではないでしょうか。

満開の桜の美しさは同時に、亡くなった人達が生きていたら咲かせていたであろう花にも見え、なんともいえない気持ちになりました。（T本）



海外での戦没者数を示す地図

戦前戦後、社会的弱者のためにたたかった弁護士

「弁護士 布施辰治」紹介

◆『弁護士布施辰治』

<http://www.nishida-shoten.co.jp/>

大石 進 著

2010年3月発行・四六版／316 ページ

ISBN:9784888665247

「私は、祖父を、愛をもって語ることが出来るようになった」

戦前戦後、常に社会的弱者とともに闘い、韓国・建国勲章を受章した唯一の日本人布施辰治、その圧倒的な人生を、孫にあたる著者が書き表した渾身の評伝です。

法律家とは、弁護士のるべき姿とは何か。布施辰治の生涯が、それを鋭く問いかけます。HuRPでは、この本の普及をしています。ぜひ、お読みください。



ご購入は、こちらにご連絡ください。特定非営利活動法人 人権・平和国際情報センター

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6 川合ビル41号室

TEL/FAX 03-3234-3231 E-Mail hurp@hurp.info

平和な休日へのほほんのほ子のカフェ散歩～

第1回：根津「茶房 はん亭」

<http://www.hantei.co.jp/sabou.html>

みなさま、はじめまして、のほ子と申します。ぶらぶら散歩やカフェが大好きで、1人でもでかけます。これから、私が行ったカフェや喫茶店をみなさん紹介して参りたいと思います。ほんとに良いものを見たいのほ子ではありますが、面食いで若輩者ゆえ、流行りのものや見かけに流されることも多々あります。そのところは、のほ子の成長を見守っていただくということで、ご容赦くださいませ。このように、休日をゆっくり過ごせるのも平和のおかげ。ただぶらぶらと、ときには想像力をはたらかせながら、のほ子は今日もでかけます。ではでは、お付き合いのほど、よろしくお願ひいたします。



記念すべき第一回目に紹介するのは、昨年秋に訪ねました、根津の「茶房 はん亭」です。根津駅2番出口から徒歩5分くらいのところにあります。串揚げ処はん亭の姉妹店のような感じで、建物はたしか重要文化財に指定されていて、趣のあるものです。入り口でメニューを眺めていると、扉が開いて、お店のおねえさんがいざなってくれました。店内は広くはないけれどじんまりとした落ち着いた雰囲気です。「季節のごはん」を注文すると、牡蠣や茄子を春巻の皮で巻いて揚げたもの、ごはん、味噌汁、小鉢が出てきました。揚げたてあつあつで、猫舌のほ子には、味わうのが難しかったです。しかし、おねえさんたちの気持ち良い働きぶりも相まって、おいしさ倍増でした。愛情込めて、丁寧にもてなされているのが伝わってくるお店です。

◆寄りみちする？

「谷根千（やねせん）」という愛称でおなじみの根津。古いまちを大切にする人びとは、ものごとをじっくり考える／楽しむのが上手なようです。GWはこんなところに寄ってみるのはいかが？

4月24日（土）～5月9日（日）東京『不忍ブックストリート 一箱古本市』にて「落書きから本の持ち主を想像!? 不忍ブックストリートで『痕跡本』展示＆ツアーを開催

先日、青年劇場の公演『太陽と月』（満州を舞台にした壮大な物語です。次号以降でご紹介します）を見に行った帰りに、早稲田の「MOGUMOGU」に連れて行ってもらいました。昼間はカレー屋さんで、夜は香辛料が効いたおいしいメニューを出すお店です。クミンを使った鳥の焼肉の入ったパスタはとてもおいしかったです。ぜひ、お越しください。（T本）

新宿区西早稲田 2-4-19（西早稲田交差点 UFJ銀行となり）

TEL 03-6457-3131



特定非営利活動法人「人権・平和国際情報センター」(HuRP: ハープ)

Human Rights and Peace Information Center JAPAN (HuRP)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル41号室 TEL&FAX 03-3234-3231

e-mail hurp@hurp.info HP <http://www.hurp.info/>

